

中学歴史プリント（過去問類似）

安土桃山時代

名前

得点

/8

問1 織田信長や豊臣秀吉の時代には、大名の権威を象徴するような豪華で壮大な文化が栄えました。この時期に活躍した絵師の狩野永徳が、金箔を背景に力強い獅子を描いた「唐獅子図屏風」などの作品を残した文化の名称として正しいものを選びなさい。（2026年 埼玉公立入試 類似）

1. 桃山文化 2. 天平文化 3. 元禄文化 4. 化政文化

問2 桃山文化が、それまでの時代の文化と比較して「豪華」で「壮大」な特色を持つようになった歴史的な背景として、最も適切な説明はどれか。（2018年 熊本県公立入試 類似）

1. 天下統一を目前にした戦国大名の権威誇示や、海外貿易で富を蓄えた豪商の経済力が結びついたため。
2. 公家が政治の実権を握り、大陸から伝来した最新の仏教美術を大規模な寺院建立に取り入れたため。
3. 幕府による厳しい統制下で、武士の嗜みとして儒教的な道徳観に基づいた質実剛健な様式が強制されたため。
4. 長引く戦乱による社会不安から、人々が救いを求めて極楽浄土を夢想し、阿彌陀堂などの宗教建築に私財を投じたため。

問3 豊臣秀吉が全国規模で実施した「太閤検地」の内容について、それまでの土地制度と比較した説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 香川公立入試 類似）

1. 実際に田畑を耕作している農民を検地帳に登録して土地の所有権を認め、同時に年貢を納める義務を負わせた。
2. 土地を新しく開墾した者に対して、その土地を永久に私有することを認めることで、農業の振興を図った。
3. 全国の土地の所有権を一度天皇に返上させ、改めて大名にその土地の管理を任せる仕組みを整えた。
4. 土地の面積ではなく、その土地で働く人の数に応じて税を課すことで、労働力を確保しようとした。

問4 16世紀のドイツにおいて、ルターがカトリック教会の権威に異議を唱えて始めた宗教改革では、ある技術の普及が自身の考えを広める大きな助けとなりました。この改革を支持し、教会の教えよりも「聖書」を信仰のよりどころとした人々を指す言葉として、最も適切なものを選びなさい。（2021年 京都公立入試 類似）

1. プロテスタント 2. カトリック 3. イエズス会 4. ピューリタン

問5 桃山文化に関連する出来事や人物について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2026年 埼玉公立入試 類似）

1. 狩野永徳が屏風画を描き、千利休が茶の湯を大成させた。
2. 葛飾北斎が「富嶽三十六景」を描き、浮世絵が流行した。
3. 貸本屋が普及し、十返舎一九などの作者による滑稽本が人々の間で読まれた。
4. 庶民の間で、質素儉約を旨とする「わび茶」が町人文化の中心として広まった。

問6 安土桃山時代を象徴する桃山文化は、大規模な城郭建築や金箔を用いた障壁画など、豪壮で華やかな特徴を持っています。このような文化背景の中で千利休が果たした役割について、適切な説明はどれですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）

1. 簡素な茶室の中で精神的な静寂を重んじる「わび茶」を大成させた
2. 浮世絵の技法を確立し、庶民の日常生活を色鮮やかに描いた
3. 人形浄瑠璃の脚本を書き、義理人情に厚い町人の物語を広めた
4. 日本独自の国風文化を確立し、かな文字を用いた文学作品を残した

問7 16世紀のヨーロッパでは、航海技術の向上によって世界規模での交流が活発になりました。この時代にヨーロッパの人々が日本などのアジアへ来航し、キリスト教の伝来や貿易が盛んに行われるようになった背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2017年 長野県公立入試 類似）

1. ルネサンスによる科学技術の進歩で遠洋航海が可能になり、高価な香辛料を求める動きや、カトリック教会の改革に伴う海外布教が結びついた。
2. ベルサイユ条約の締結によってヨーロッパ国内の勢力争いが終結し、アジアの絹織物を独占するために、キリスト教を公認した国々が日本を訪れた。
3. 産業革命による工業化が進んだ結果、大量生産された商品を生かす市場を求めて新航路が開拓され、天保の薪水給与令によって寄港地が確保された。
4. 十字軍の遠征が成功したことで東方への関心が高まり、ルネサンスで生まれた最新の兵器を用いてアジア諸国をキリスト教の保護下に置こうとした。

問8 日本と世界の交流に関する歴史的な事象のうち、16世紀の「天正遣欧少年使節」の派遣と、歴史的な時期や背景が最も近い出来事はどれですか。（2019年 神奈川県公立入試 類似）

1. バスコ・ダ・ガマが喜望峯を経てインドに到達し、アジアへの新航路が開かれたこと。
2. マルコ・ポーロが元を訪れてフビライに仕え、その見聞が『世界の記述』としてまとめられたこと。
3. 聖武天皇の遺品やシルクロードを経由した国際色豊かな工芸品が、正倉院に納められたこと。
4. 日本の錦絵がヨーロッパへ渡り、印象派などの画家の作品に大きな影響を与えたこと。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 桃山文化	織田信長や豊臣秀吉が権力を握った時代を安土桃山時代と呼び、この時期の文化は「桃山文化」と称されます。力強い筆致や豪華な色彩を特徴とする屏風画は、新興の武士や豪商の活力を反映しており、狩野永徳はその代表的な絵師です。天平文化は奈良時代、元禄文化と化政文化は江戸時代の文化を指します。
問2	答え 1 天下統一を目前にした戦国大名の権威誇示や、海外貿易で富を蓄えた豪商の経済力が結びついたため。	織田信長や豊臣秀吉による天下統一の動きの中で、武士たちは自らの武力や権威を視覚的に示す必要がありました。また、堺や博多といった都市の豪商たちが政治・経済の両面で武将と深く関わり、その莫大な富が芸術活動の資金源となりました。このような政治的・経済的な上昇志向が、従来の伝統的な美意識を超えた、規模が大きく色彩豊かな文化を生む原動力となりました。
問3	答え 1 実際に田畑を耕作している農民を検地帳に登録して土地の所有権を認め、同時に年貢を納める義務を負わせた。	豊臣秀吉は全国の田畑の面積や質を調査する検地を行い、それまで複雑に入り組んでいた土地の権利関係を整理しました。これにより、実際に耕作を行っている農民の名前を検地帳に登録し、その土地の所有権を認める代わりに、収穫量に応じた年貢の納入をその農民に義務付けました。これは「一地一作人の原則」と呼ばれ、兵農分離を進める基盤となりました。
問4	答え 1 プロテスタント	ドイツのルターが免罪符（贖罪状）の販売を批判したことから始まった宗教改革において、グーテンベルクが発明した活版印刷技術が重要な役割を果たしました。この技術によってルターの考えやドイツ語に翻訳された聖書が急速に普及し、これまでの教会の権威に抗議（プロテスト）した人々は「抗議する者」という意味のプロテスタントと呼ばれるようになりました。
問5	答え 1 狩野永徳が屏風画を描き、千利休が茶の湯を大成させた。	狩野永徳による力強い屏風画と、千利休による茶の湯の完成は、いずれも桃山文化を代表する事象です。葛飾北斎の浮世絵や貸本屋の普及、滑稽本の流行は、いずれも江戸時代の中期から後期にかけての町人文化（元禄文化や化政文化）の特徴であり、桃山文化とは時代背景が異なります。
問6	答え 1 簡素な茶室の中で精神的な静寂を重んじる「わび茶」を大成させた	桃山文化は、大名や豪商の富を象徴するような力強く豪華なものですが、千利休はそれとは対照的に、無駄を削ぎ落とした「わび茶」を大成させました。これは茶の湯を通じた精神的な交流や、質素な中にある美しさを追求するものでした。他の選択肢は、江戸時代の文化や平安時代の文化に関する説明です。
問7	答え 1 ルネサンスによる科学技術の進歩で遠洋航海が可能になり、高価な香辛料を求める動きや、カトリック教会の改革に伴う海外布教が結びついた。	14世紀から16世紀にかけてのヨーロッパでは、ルネサンスの影響で科学的な知識や航海術、地理的認識が大きく進展しました。これにより、当時肉の保存や薬用として需要が高かったアジア産の香辛料を、イスラム勢力を介さずに直接入手するための新航路開拓が始まりました。また、宗教改革によって勢力を弱めたカトリック教会が、組織の改革を図るとともに、新たな信者を求めて海外への布教（対抗宗教改革）に力を入れたことも、宣教師が来航する大きな要因となりました。
問8	答え 1 バスコ・ダ・ガマが喜望峰を経てインドに到達し、アジアへの新航路が開かれたこと。	16世紀は、ヨーロッパ諸国が海外へ進出した「大航海時代」にあたります。バスコ・ダ・ガマによるインド航路の開拓（15世紀末）を契機として、ポルトガル人やスペイン人がアジアへ来航し、南蛮貿易やキリスト教の伝来が始まりました。天正遣欧少年使節は、まさにこの大航海時代における東西交流の波の中で実現した出来事です。他の選択肢については、マルコ・ポーロは13世紀、正倉院は8世紀、錦絵の影響は19世紀の出来事であり、時期が異なります。